



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2020年12月13日(日)9:30~12:00(晴後曇り)

参加者 一般：1名

指導員：3名

## テーマ 「鳥を見ながら赤い実を探そう」

木の葉が散って、枝に止まる野鳥が見やすくなりました。メインテーマは野鳥観察ですが、併せて赤い実にも注目して回りました。赤い実はよく目立つのにおいしいのか、遅い時期まで残っていて野鳥の貴重な食料となります。3月には渡りの途中のレンジャクの群が赤い実の残っていたクロガネモチの木に立ち寄っていました。

堤防道路から河岸林の梢を眺めると、この時期にはおなじみのツグミが確認できました。小さな実がたくさんついたアキニシの枝ではシメヤカワラヒワの群が実をついばんでいました。川原のクズなどの繁みで動くものを双眼鏡で追うと、ベニマシコのメスとピンク色が美しいオスも確認できました。見ている間に数羽のアトリが飛んできてその近くに止まりました。今季は木曽川の川原にアトリの群が来ているとの話を聞いて、先月から気を付けていました。また、道路際にジョウビタキも出て、しっかり姿を見せてくれました。この日、確認できた野鳥は22種でしたが、ここではあまりお目にかかれないベニマシコやアトリが見られてラッキーでした。

野鳥を見ていた堤防道路の脇の地面にウラギンシジミが止まっていました。気温が下がって動けなくなっているようでしたので、近くにあった木の葉の裏に止まらせました。

大野極楽寺公園では早くもミヤマウグイスカグラの花が数輪開いていました。この木は花の咲く期間が長く、5月頃まで順番に咲いています。他にベニバナトキワマンサクも咲き始めていて、これから冬本番というのに、何となく春の兆しを見た感じです。また、エゴノキが何らかの刺激があったのでしょうか、若い葉を出し花も付けていました。この木は以前にも季節外れの花を咲かせたことがあります。

もう一つのテーマの赤い実は、駐車場のクロガネモチに始まり、ノイバラ、ツルウメモドキ、トベラ、カラスウリ、サンシュユ、シロダモ、ナンテン、マンリョウ、アオキの10種が見られました。

なお、先月、川原で見たキツネの巣穴は、またしても公園管理者に埋められていましたが、その周りには新しい足跡や糞が見られました。近くでうまく生息し続けられるといいですね。(報告：齋竹)



(堤防道路からベニマシコとアトリを観察中)

### <その他観察できたもの>

鳥：ヒヨドリ、キジバト、メジロ、トビ、モズ、シジュウカラ、ヤマガラ、ハクセキレイ、ムクドリ、スズメ、

ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワウ、アオサギ、カルガモ、ウグイス(声)

虫：ヨコツナサシガメ(幼虫の集団越冬)

花：シュウガツザクラ、セイヨウタンポポ



ツグミ



ジョウビタキ



トベラの実



シロダモの実